

スムーズな刷毛さばきと
美しい仕上がりを求めるプロ向けの塗料

防火材料等認定品	
認定番号	区分
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料
塗料塗装 / (一社)日本塗料工業会	

F☆☆☆☆
ホルムアルデヒド放散等級

ハイグレード合成樹脂調合ペイント

スペースマイスター

優れた作業性

軽い、伸びる、とまりがよい
速乾で作業効率アップ

高仕上がり性

刷毛むら、艶むらが目立ちにくい、
滑らかで美しい仕上がり

安全安心仕様

鉛・クロムなどの有害重金属を配合しない環境配慮形塗料
ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆

| 用途 | 建築物の内外鉄部上塗り塗料：鉄扉、鋼製建具、手摺など

商品構成

色相	艶	容量	希釈用シンナー
白 調色	艶有 5分艶 3分艶	15kg 3kg	塗料用シンナーA

塗装仕様例

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量*2 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	劣化した旧塗膜、発錆部は電動工具、手工具を用いて入念に除去し、活膜部はサンドペーパーなどで表面を目粗しする。油脂、汚れ等はウエスや溶剤拭きで除去し、清掃する。					
下塗り*1	超速乾リンサンデラストHB (塗料用シンナーA)	5~10	0.14	1	16時間~6か月	刷毛・ローラー
上塗り-1	スペースマイスター (塗料用シンナーA)	5~10	0.10	1	16時間~7日	刷毛・ローラー
上塗り-2	スペースマイスター (塗料用シンナーA)	5~10	0.10	1	-	刷毛・ローラー

*1 下塗り塗料にはクイックエポプライマーⅡも使用できます。

*2 使用量は被塗物の形状、表面状態により増減することがあります。

塗重ね間隔

温度	5℃	20℃	30℃
時間	72時間~7日	16時間~7日	16時間~7日

湿度、換気などの環境条件や被塗物の形状、状態により時間は前後します。

- 注1 コンクリート、モルタル等のアルカリ性素地には塗装を避けてください。
- 注2 屋内の暗所においては、塗装後経時で塗膜が黄変することがあります。
- 注3 結露の発生が著しい個所ではふくれ等の不具合が発生することがあります。当該塗料での塗装は避けてください。
- 注4 控見本板をお持ちの場合、保管状況によって暗所焼けなど変色することがあります。事前に色の確認をお願いします。

使用上の注意事項

■施工上の注意事項

- 気温および被塗面温度が5℃以下のときは塗装を避けてください。低温時には乾燥遅延など不具合が生じやすくなります。やむを得ず低温時に塗装するときは採暖対策が必要です。
- 被塗面温度が50℃以上あるときは塗装を避けてください。急激に塗膜が乾き、作業性、仕上がりに不具合が生じます。
- 湿度85%RH以上のときは塗装を避けてください。乾燥遅延や仕上がりに不具合が生じるおそれがあります。
- 外部の塗装において、強風時や降雨、降雪が予想される場合は塗装を避けてください。
- テーブルやカウンター、椅子などが設置される箇所や部位への塗装は避けてください。塗膜が軟化して設置跡がつくおそれがあります。
- 常時水が接触する部位への塗装は避けてください。
- コンクリート、モルタル、スレートなどのアルカリ素地への塗装は避けてください。
- 油性塗料の特性として、屋内の暗所においては塗装後経時で黄変することがあります。変色が目立ちやすい淡彩色を採用する場合は水性塗料を適用してください。
- 弱溶剤塗料で臭気は比較マイルドですが、感性には個人差があるため、塗装中、養生間、塗料取り扱い時は、臭気などが近隣に影響を与える場合があります。あらかじめ施主様、近隣住民への説明を行い、了承を得て塗装をしてください。
- 電動工具、電動攪拌機等を使用する際には、騒音や粉じん対策を十分に行ってください。
- 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。

■取扱に関する注意

- 周辺での火気、スパーク、高温物には注意して、火気厳禁としてください。
- 静電気対策のため、使用する装置などは接地してください。
- 塗料取り扱いの際は換気を十分に行ってください。
- 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないようご注意ください。
- 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
- 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
- 容器の蓋を開ける際には、缶の内圧が上がっている場合があります。開缶時は十分に気をつけてください。
- 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のご使用ください。
- 塗料を使用する前に電動攪拌機等を用いて、塗料缶の内容物を攪拌し均一な状態にしてください。
- さげ缶に小分けするときは、十分にかけ混ぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを用いてください。
- 塗料取り扱い後および塗装作業後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 使用した塗装用具は直ちにラッカーシンナー等で洗浄してください。

- 塗料の保管は、承認を受けた危険物倉庫に貯蔵・管理することが必要です。
- 控見本板をお持ちの場合は、保管状況によって暗所焼けなど変色することがあります。

■塗装に関わる注意事項

- 希釈は必ず塗料用シンナーAを使用してください。その他のシンナーを使用した場合、チヂミや再溶解などを生じる場合があります。
- 仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、被塗面の状態、施工条件、気象条件などにより幅を生じる場合があります。
- 改修塗装の場合は、既存塗膜の種類によっては、溶剤などの影響によりリフティング、しわなどの仕上がりに不良が生じる場合があります。あらかじめ試し塗りをお奨めします。
- 室内での塗装、乾燥中は十分に換気を行なってください。
- 外部塗装においては換気口、空気取入口などから臭気が室内に入り込まない様に適切な処置をしてください。
- 濃赤黄色系色相の場合、隠ぺい不足により上塗り工程が増える場合があります。上塗り-1工程の色相に白または共色を用いることをお奨めします。
- 艶調製品は、被塗物の形状や、塗装条件(塗回数、塗り付け量、希釈率)、塗り継ぎ箇所などで、色相、艶感の仕上がりが若干異なって見える場合があります。事前に試し塗りを先行確認してください。本施工を行う際には、面を区切って通しで塗装してください。
- 使用塗料は補修塗装用に控えておき、補修塗りの際には、同一ロット、同一条件で塗装してください。

■緊急時の対応

- 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸入した場合には、安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布(ウエス)などで拭き取ってください。
- 万が一、火災が発生した場合はABC消火栓を用いてください。

■廃棄

- 塗料が付着したウエス、塗料カス、スプレーダスト等は、発熱、自然発火のおそれがあります。速やかに水に濡らすなどの予防対策を行ってください。
- 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

■保管

- 残塗料は密閉して冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
- 容器はつり上げないでください。

- ※ 安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照ください。
- ※ 必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
- ※ ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



本社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199 北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315 四国 ☎(0897)65-4550 FAX(0897)65-4576
東北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813 名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318 九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777
東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553 大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268
静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091 中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821 <https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等については予告なく変更することがあります。ご了承ください。